

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
(株)新日鉄都市 開発大分支店 公募委員 (青柳理郎)	<p>子どもたちがのびのびと育つ住環境をつくり、子育てに優しい街づくりができるよう、会社に取り組んでいるプロジェクトに対し、様々な提言をしたいと思います。</p> <p>また、個人的には、子育て中のお父さんを中心とした大分西洋音楽クラブを組織し、「子どもたちとお母さんお父さんのための音楽会」を開催し、子どもたちが親御さんとともに楽しく自由に音楽に触れる場を作っていきます。</p>
大分県小中学校 校長会協議会 (阿部三四子)	<p>1 重点取組項目</p> <p>(1) 県民意識の醸成(広報・啓発活動の展開)に係る独自の取組</p> <p>◇子育てをテーマにした講演会の開催</p> <p>①期 日：平成18年8月10日(木)</p> <p>②場 所：大分文化会館</p> <p>③講師及び演題：</p> <p>(ア)中野 雅博氏 (立命館アジア太平洋大学副学長) 演題 『国際化時代の人材育成』</p> <p>(イ)鎌田 實氏 (映画監督) 演題 『がんばらない』けど『あきらめない』</p> <p>④対 象：県下の教職員、PTA等</p> <p>(2) 地域における子育て環境の整備に係る取組</p> <p>◇保護者や地域の人たちが学校行事等に参加しやすい職場環境作りの推進</p> <p>◇地域の子育て支援団体との情報交換や教職員が地域行事等に積極的に参加する協力態勢の醸成</p> <p>◇子どもが安全で楽しい学校生活が過ごせるよう家庭・地域と連携した安全管理対策の確立</p> <p>◇児童育成クラブの支援</p> <p>◇学校安全ボランティア『スクールリーダー』『スクールガード』の設置</p> <p>2 その他の取組</p> <p>(1) 三世代交流活動や文化継承活動等による多様な体験活動の推進</p> <p>(2) 『総合的な学習の時間』を活用した「親子や地域の人たちとのふれあい活動」の推進</p> <p>(3) 読書指導や読み聞かせによる「心そだて」の推進</p> <p>(4) 運動会や文化祭等において「親子のきずなを深める活動」の推進</p> <p>(5) 近隣の幼稚園・小学校・中学校との連携活動の推進</p> <p>(6) 学級PTA等における子育て相談の充実</p> <p>(7) 学級担任や学校栄養職員等による「食育」の推進</p> <p>(8) 次世代の親づくり(家庭教育学級の充実と子ども子育て講座の実施)</p> <p>(9) 中学校にスクールカウンセラー、小学校に子どもと親の相談員の配置</p>

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
社団法人日本 助産師会大分 県支部 (安倍本子)	<p>1 赤ちゃん&おっばい電話相談 電話・FAX： 097-534-0753(いつも皆よい子で何もなくて7・5・3) 相談日時： 毎日(10時～16時) 相談内容： 妊娠・出産・産後、母乳育児・育児全般、人工妊娠中絶、不妊、 避妊、思春期、更年期</p> <p>2 タッチケア教室の開催 開催日時： 毎月第1・3月曜日(13時30分～15時00分) 開催場所： くまがい産婦人科「くまちゃんホール」 参加費： 2回クールで3,000円(オイル1,200円+テキスト代含む) 申込み： くまがい産婦人科直接又は「赤ちゃん&おっばい電話相談」へ</p> <p style="text-align: center;">※豊後大野市、国東市、杵築市、佐伯市(弥生振興局)では、住民を対象に行っています。</p> <p>3 いのちの出前講座おおいた 大分市内の小学校・中学校・高校・保護者(保育所・幼稚園・学校等)を対象に、 受託事業として、無料で行っています。 その他、県内の小学校・中学校・高校・保護者(保育所・幼稚園・学校等)を対象 有料で行います。</p> <p style="text-align: center;">問合せ・申込み先 (社)日本助産師会大分県支部事務局電話・FAX 097-569-5146</p> <p>4 双子の支援(乳幼児の一時預かりと親の交流会) 開催場所： 大分市南部公民館 開催日時： 毎月第4土曜日12時30分～15時30分 問合せ・申込先： 赤ちゃん&おっばい電話相談 参加費： 負担金として、一時預かり(1回2人で1,500円)</p> <p>5 孫育て教室 開催日時： 年2回13時30分～15時30分 問合せ・申込先： 赤ちゃん&おっばい電話相談</p> <p style="text-align: center;">※開催前2～3ヶ月にHP又は広報でお知らせします。</p> <p>6 思春期の性相談室(計画中) 開催日時： 平成18年10月～19年3月(第2・4土曜日)13時～16時30分 開催場所： アイネス1階会議室 内 容： 面接相談、電話相談、HIV検査、クラミジア検査等 相談内容： 妊娠のこと、避妊のこと、性感染症のこと、性の悩み、月経のこと等</p>

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県保育連 合会 (安東知子)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「大分子育てハイパーネット (http://www.hoiku21.gr.jp)により、子育てに関する情報を収集・発信するとともに、育児相談(子育てQ&A)や情報交換(子育て広場)等の場を設け、子育て全般にわたる支援を行う。 ○ 小学校・中学校・高等学校における職場体験学習の一環として、保育所体験学習の受入れや中・高校生ボランティアの受入れを推進する。 ○ 保育所において、保護者の傷病・入院・育児疲れ等の事由に対応した一時保育を推進する。 ○ 保育サービスの質の向上を図るため、保育に関わる保育士等を対象とする各種の研修会を開催する。 ○ 地域の子育て支援サービスの充実に資するため、保育ニーズに対応した特別保育事業等に関する保育所の取組及び保育サービス提供の実態等保育所の経営・運営管理や保育内容の向上を目的とした保育実践活動、子育て支援活動の実態等について調査研究を実施する。 ○ 子どもの社会性を育むため、地域のお年寄りや保育所を退所した児童等との世代間・異年齢児交流事業等の特別保育事業を推進する。 ○ 児童虐待の早期発見・発生予防を推進するため、保育士等を対象とした研修会を開催するとともに機関紙等により行政通達等関係資料の情報提供を行う。 ○ 保育所に入所している乳幼児の健康と事故防止等安全に関する「保育所健康・安全保育研修会」を開催する。 ○ 給食により家族形成や健全な人間性育成に資する食育教育を継続して実施する。 ○ 子どもを生み、育てることの喜びや意義等についての理解を深めるための意識啓発等の取組みを進める。 ○ 各種のフォーラム、キャンペーン等の後援を通じて、生命の大切さ、家庭の役割や安心して子どもを生み、育てることができる社会の形成等についての理解を進める。 ○ 人材養成研修会としてのコンピューター活用の足がかりとして、マイクロソフト社パワーポイントを使用したプレゼンテーションの習得を行う。
大分県商工会 連合会 (生島雄作)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども商店街事業 小学生を対象として、仕入れから販売という商売の基礎を教え、実際に街のイベントに出店、子どもたちに「ものを売る」という実体験を通じて、商売のメカニズムを知ってもらい、子どもたちの自立心を養い、チャレンジ精神を育てることを目的としている。 (安岐町、国東町、武蔵町で取り組む。)

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容															
大分労働局 雇用均等室 (池田真澄)	<ol style="list-style-type: none"> 1 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定届提出状況 平成18年8月末現在 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(1) 一般事業主行動計画策定届け提出企業</td> <td style="text-align: right;">94</td> <td style="text-align: right;">社</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">うち301人以上企業</td> <td style="text-align: right;">65</td> <td style="text-align: right;">社</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">うち300人以下企業</td> <td style="text-align: right;">28</td> <td style="text-align: right;">社</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(2) 大分県内の301人以上企業数</td> <td style="text-align: right;">65</td> <td style="text-align: right;">社</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(3) 301人以上企業の届出率</td> <td style="text-align: right;">100</td> <td style="text-align: right;">%</td> </tr> </table> 2 中小企業における次世代育成支援に向けた取組推進のための働きかけ <ol style="list-style-type: none"> (1) 中小企業子育て支援助成金を活用した働きかけ (2) 資料提供、文書による働きかけ (3) 個別訪問による働きかけ 	(1) 一般事業主行動計画策定届け提出企業	94	社	うち301人以上企業	65	社	うち300人以下企業	28	社	(2) 大分県内の301人以上企業数	65	社	(3) 301人以上企業の届出率	100	%
(1) 一般事業主行動計画策定届け提出企業	94	社														
うち301人以上企業	65	社														
うち300人以下企業	28	社														
(2) 大分県内の301人以上企業数	65	社														
(3) 301人以上企業の届出率	100	%														
大分県社会 福祉協議会 (池邊廣司)	<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニティの再構築として…「支えあうまちづくり事業」の実施 地域で住民自ら見守りや助け合い活動を行うことにより、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れたまちで、心豊かに安心して暮らしていける地域社会を築いていく取り組み。 この取り組みにより、児童虐待や子育て不安を感じている家庭の早期発見・サポート等を含む、地域の支えあい(共助)を展開していく。 2 日常生活における困りごとの調査として…「生活課題実態調査」の実施 県内約18,000世帯を対象に、生活上の困りごと、地域行事への参加状況、地域の人の関わり方等を調査する取り組み。 この取り組みにより、「市町村ごとの子育てに関する具体的な困りごと」などを明らかにすることにより、地域の困りごとを地域住民自らが考え、解決に向けた取り組みに繋げていく。また、現在の事業の見直しや、組み立てへ展開していく。 3 少子化対策「出会いの場づくり」として…ボウリング教室の開催 大会ではなく継続して行う教室を開催することにより、地域のコミュニティ(人間関係)を深め、さらに「地域の福祉力」を高める取り組み。この取り組みにより、独身者の出会いの場づくりへ展開していく。 															

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県高等学校PTA連合会 (馬越敦子)	<p>高等学校PTA連合会は、次世代を担う子どもたちの健全育成に向けて次の事業に取り組んでいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地区別指導者研修会の開催（県北・別杵国東・大分・県南・豊肥・久大） この研修会は、家庭、学校及び地域における教育環境の改善、生徒の健全育成を図るため、PTA役員の指導者としての資質の向上を図り、PTA活動の活性化を目的に開催。 2 PTA連携「地域の宝」育成事業 幼・小・中・高校PTAの連携を深め、児童生徒の健全育成を進めるとともに、地域教育力の向上を図るため、7ブロックの中学校を拠点校とし、高等学校を協力校として実践活動を行う。
別府大学 (大嶋美登子)	<ol style="list-style-type: none"> 1 別府大学は、大学院の臨床心理学専攻（臨床心理士養成課程）において、特別カリキュラムを組んでいる。子どもや親、そして、保育士など関係者の悩みや心理的問題の理解と対応の仕方を学ぶ実習である。（保育所実習、幼稚園実習、児童クラブ実習、養護施設実習、施設や大学相談室での子どもに対するプレイセラピー等） <p>次世代育成支援という視点で対人援助専門職の養成に取り組んでいる。（保育士、</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 幼稚園～高校教諭、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、臨床心理士、栄養士、管理栄養士等） <p>学生の自主活動の促進</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 学内サークルやボランティア研究会で、子どもたちに関わる活動を支援している。（BBS、不登校児童生徒支援活動、適応指導教室・児童クラブ・養護施設でのボランティア等）
大分県児童養護施設協議会 (太田恵子)	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童虐待防止に向けて子ども、家庭、地域住民から様々な相談に応じ、専門的な指導・支援を行う 2 児童家庭支援センターの設置をすすめ、関係団体とのネットワークや支援システムづくりを充実させていく。

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>NPO子どもと親の相談センター 公募委員 (後藤みか)</p>	<p>1 NPO子どもと親の相談センター・大分 (ひとりで悩まないで相談してね!) 無料相談日 毎月1, 11, 21日14:00～16:00 (どなたでも参加できます) 定例研究会 毎月11日18:30～20:00 (講師を派遣します!) 出前講座 大分県教委「人権草の根出前講座事業」受託ほか 詳しくはホームページをご覧ください。http://www.capo.jp</p> <p>2 平成18年度人権啓発フェスティバル大分会場 ヒューマンフェスタ2006おおい「子どもの虐待防止」講演会 テーマ:「子どもの人権を中心にして～家庭の闇に潜む暴力を見つめて～」 講師:岩城正光(弁護士・CAPNA理事長) とき:平成18年9月30日(土) 13:30～15:00 ところ:別府市 ビーコンプラザ 中会議室 主催:大分県少子化対策課 NPO子どもと親の相談センター・大分 参加費: 無料</p> <p>3 次世代育成支援県民チャレンジ事業 事業名:子ども虐待防止への共感と分かちあい推進事業 団体名:NPO法人 子どもと親の相談センター・大分(大分市) 概要:虐待防止に向け、正確な知識と情報を持ち、予防の段階から親の気持ちに寄り添える人材を育成するため、講義と体験参加型の研修の手法を用いた講座を県内数カ所で開催する。 また、県外から講師を招き、虐待防止啓発講演会を開催するとともに、虐待防止に向けたキャンペーンを行う。</p>
<p>フリー アナウンサー (後藤美和)</p>	<p>現在、私は、毎週日曜AM7:30テレビ大分放送の「ほっと は一と OITA」で、大分県の取組や教育現場をレポートしています。県内各地を取材して『大分県の今』を実感しながら、私なりの次世代育成支援を考えてみました。</p> <p>昨年度、県民会議委員に選出して頂いた時、「子供のいない自分に子育てなんて…」と困惑していました。しかし、会議に参加し、委員の皆さんの熱心な姿勢に刺激を受け、この機会に私も何かやってみようと思ち上がりました。</p> <p>次世代育成支援は、子育てに限らない。県民会議の大嶋委員や西村委員に様々なアドバイスを頂きながら、「キャリア・カウンセラー」の活動に興味を持ちました。「キャリア・カウンセラー」は、個人の興味、能力、価値観をもとに、個人にとって望ましいキャリアの選択・開発を支援する専門家です。大分県でも、「小学・中学・高校一環キャリア教育」が試験的に取り入れられています。子供達が将来仕事に就く際のお手伝い、また、子供達の夢をかなえる手助けが出来れば、これも「次世代育成の支援」になるのではないのでしょうか?</p> <p>私は今、「キャリア・カウンセラー」の資格取得に向け、奮闘中です。ホントは、少子化対策のお役に立ちたいのですがねえ～ こればかりは、一人では解決できなくて…</p>

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
NHK 大分放送局 (佐伯真規)	<p>全国放送でも様々な番組を放送していますが、ここでは大分局の取り組みを記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成18年3月2日(木)のひるまえスタジオおおいた(午前11時40分～正午)において、大分県の少子化対策課長をゲストに招き、少子化の現状と今の行政の施策などを、10分強にわたり解説してもらうとともに、県民に対して子どもを生み育てやすい環境作りへの協力の呼びかけをしてもらった。 ○ また、平日の夕方の番組「オアシスTVおおいた」では、7月24日(月)から8月1日(火)まで九州沖縄各地の少子化の現状とそれへの対策をレポートした。大分からは、子育て中の女性を積極的に雇用している美容室を中心に取材して子育てと仕事を両立することの難しさとともに素晴らしさを取り上げた。その他、福岡県が行っている男女の出会いを支援する取り組みや、熊本県が子どもがいる家庭への割引をする商店の募集を始めたことなどを紹介し、各地のユニークな取り組みを紹介しながらその効果を探った。 ○ この他、少子化企画とは銘打たなくても、この番組では、毎週「くらしを見つめて」というコーナーがあり、くらし全般に関する疑問や不安な点を取り上げており、広い意味で県民の暮らしやすさの向上に努めている。
大分県中小企業団体中央会 (佐藤哲也)	<p>従業員300人以下の事業所にも次世代育成支援対策の努力義務が課せられたため、本年度より、本会の会員組合を通じて、次世代育成に向けた職場環境の整備の重要性等を説明し、会員企業に「しごと子育てサポート企業」認証を進めている。具体的には、組合の総会、全体会議、理事会等で、組合員企業に対し説明を行うとともに、機関誌、ホームページにも掲載するとともに、職員の組合訪問の際にも説明を行うようにしている。</p>
大分県商工会議所連合会 (柴田文子)	<p>本連合会傘下企業を中心に男女雇用機会均等法の周知徹底を図るとともに、企業の意識啓発を図ることを目的として、以下の各項目について、セミナー及び研修会を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職場における性別役割分担の是正や雇用機会均等の確保 2 育児休業を取りやすく、職場復帰をしやすい環境の整備 3 子育てのための時間確保の推進等子育てをしながら働き続けることのできる環境の整備 4 出産・子育てのために退職した者の再就職の支援 5 全国組織である日本商工会議所と連携し、女性の起業を奨励する「女性起業家大賞」の積極的推進

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県青少年 団体連絡協議会 (白根直樹)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構成団体個々の特性を活かし、地域に密着した公民館等と連携し、青少年・親子参加型の子育て支援プログラムを企画・実施する。 ○ 子どもが自然や社会の中で、さまざまな実体験を通して、多くの人とふれあい対話から学ぶ機会を増やすことにより、地域の教育力向上を図る。 ○ 地域における子どもの育成と、子育て中の家庭を応援・支援する広がりある取組を進める。 ○ 子どもを生み、育てることの喜びや意義について、理解を深めるための意識啓発の取組を進める。 ○ 中・高校生や地域住民と子どもとの出会いや、ふれあう機会の拡充を図る。
大分県経営者 協会 (仙波美鈴)	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業における仕事と家庭の両立支援に関する意識の醸成や固定的な性別役割分担意識を是正していくため、意識啓発を促す。 2 企業・経営者等に対し、多様な働き方など仕事と子育てをしやすい雇用環境の整備等についての情報提供、相談援助や周知・啓発を進める。 3 一般事業主行動計画の策定に関して内容の周知を行うとともに、会員企業等からの相談に応じるなど、取組の推進を図る。

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>日本労働組合 総連合会大分 県連合会</p> <p>(高浦加代子)</p>	<p>1 広報・啓発活動の展開 ホームページ「RENGO」に『お父さんお母さんでいられる時間をもっと！！』 を開設中 (本部)</p> <p>掲載項目 「法律を変える」 “子育て、介護を社会全体で支えるために” ・私たちがほしい「仕事と家庭の両立支援法」 ～育児・介護休業法を「両立支援法」へ改正しよう～ 「労働協約で勝ちとる」 “法律は最低基準です。両立支援法を上回る条件を獲得しましょう” 「環境を整える」 “保育所・学童保育の拡充、労働時間の短縮を！” ・乳児・延長・休日・病児保育やファミリーサポートなどの多様な保育 サービスの拡充 ・小学校区に最低一つの学童保育の確保 ・制度をわかりやすくするための職名、社会の理解を深める運動 ・育児・介護休業中の所得保障60%の実現 ・時間外労働の削減、休暇の完全取得など労働時間の短縮 http://www.jtuc-rengo.or.jp/new/wakaru/kurasi/jikan/index.html</p> <p>2 独自の取組項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3・8国際女性デーの取組の中で、仕事と家庭の両立について街頭にてアピール行 動を展開 ○ 労働者側の立場として、会社・事業主に対し、仕事と家庭の両立について環境整備 の要求をする。 ○ 連合大分女性委員会として「フォーラム」を開催。組合員の意見交換や外部講師に よる講演を実施 (年1回) ○ 子育て支援強化について、組合員の意見集約をもとに、行政に対する政策制度要請 の中に入れる。 (要請項目) 子育て支援の強化、男女がともに仕事と家庭を両立できるための環境 整備等

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
NPO法人みんなの広場とんとん (田中一旭) 公募委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ とんとんは1991年に設立し、NPO法人格を5年前に取得しました。 NPO法人となって以来、続けている子育て支援事業の内容を一新し、『子育て支援センターりんご』を実施しています。地域に暮らす母親と子どもが一緒にやって来て、子育てについての疑問や悩みを共に話し合える場所を提供しています。毎週水曜10時から12時までを開所時間とし、スタッフとして保育士が常駐し、子育てについてのお母さん達の疑問に応えられる環境を提供します。 ○ 平成18年4月より新規事業として、『認可外いちご保育園』・『児童デイサービスセンターもも』をスタートさせました。障がいを持つ子どもが母子分離で長時間預かれる場を提供しています。また、認可外保育園を実施している事で、どのような家庭の子どもでも一緒にすごせる場を提供しています。 スタッフには子育てを経験した保育士や、現在子育て中の保育士を多く配置しており、お母さん達の子育てへの悩みにも応えられます。また、お母さん達におかしいなっと思える所があれば、しっかり伝え、一緒に充実した子育てができるよう勤めております。
(株)エフエム大分 (TOM G)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てに関するメッセージを積極的に取り入れ、子育ての素晴らしさを訴求したいと思えます。 親子で聴ける番組づくりを目指します。
大分県PTA 連合会 (西村多恵子)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大分県PTA連合会母親部では、食育をテーマに子育てを考えています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 / 23 (金) 食育について、乳製品について2時間勉強会をしました。 ・ 親子食育推進セミナー 9 / 9 (土)、10 / 14 (土)、11 / 11 (土) 栄養バランスの偏りや朝食欠食の習慣化等、子どもの健康・食に対しての正しい知識や望ましい食習慣を身につけてもらう。 17郡市Pから親子36組参加。 10 : 00 ~ 12 : 30 料理教室 昼食 13 : 00 ~ 14 : 00 食生活診断 指導 14 : 00 ~ 15 : 00 保護者向け、児童向け講話 ・ 17郡市Pで食育についての講演、給食試食会を行っています。 (例) 別府市 給食試食会 (対象23校保護者・子ども) <ul style="list-style-type: none"> 8 / 3 (木) 10 : 00 ~ 13 : 00 参加人数 大人56名 子ども27名 8 / 10 (木) 10 : 00 ~ 13 : 00 参加人数 大人37名 子ども18名 ・ 11月に第3回母親部会 17郡市Pでの活動発表と情報交換

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
社会保険労務士 (西村慶治)	<p>1 昨年度から引き続き、大分市（商工労政課）から大分県社会保険労務士会への委託契約により、次の事業が実施されています。今年度より事業主からの相談にも対応し、相談時間も2時間までに延長されました。</p> <p>「就労意識ウェイクアップ事業」キャリア・コンサルタントを派遣します。（大分市役所のHPをご覧ください。）</p> <p>（事業内容） 就労に関して悩みを抱える若者（及びその保護者）の相談や、若者の職場定着等についての事業主からの相談に応じるため、相談者が希望する場所に、キャリア・コンサルタント（社会保険労務士）を無料で派遣して、相談者の状況に応じた適切な支援を個別に行う。</p> <p>（対象者） ・大分市内に住民票を有するか、市内の事業所に勤務、または勤務を希望する、16歳から34歳までの人（既婚者を含む）及びその保護者 ・若者の職場定着について専門家に相談したいと考えている大分市内に事業所を有する事業主</p> <p>（相談時間） 午前10時から午後8時までの間の2時間</p> <p>（相談内容） ・就職に関する情報提供 ・職業に関する適性判断 ・履歴書の書き方 ・面接の受け方 ・職業訓練に関する情報提供 ・各種専門機関の紹介、情報提供 ・その他若者の就職、就労、職場定着に関する相談</p> <p>（申込み先） 大分市商工部商工労政課労政係</p> <p>2 また、全国社会保険労務士会連合会は、本年7月19日に厚生労働大臣川崎二郎氏および内閣府特命担当大臣（少子化・男女共同参画）猪口邦子氏あてに少子化に対する次の提言を提出しています。</p> <p>少子化に対する提言 = 川の流れに添うように子育てに沿った施策を＝</p> <p>①「子ども省」の設置について ・各省に分散している政策を「子ども省」に移管すること ・税金だけでなく社会保険、労働保険の財源も導入すること</p> <p>②子育て支援ワンストップサービスの展開について ・民間の活力を動員して、子育て支援に関する全ての情報提供等をワンストップサービスで行う施設を全ての母親が1時間以内で来所可能なように全国展開すること</p> <p>③各種手当の増額について ・「育児休業給付金」「職場復帰給付金」等、真に政策効果のあるものは増額すべきであること ・育児のために収入が減少している労働者に育児をする前の収入との減額差額を補填する仕組みの手当を創設すべきであること</p> <p>（提言の詳細は、全国社会保険労務士会連合会のHPをご覧ください。）</p>

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
	<p>3 私個人の活動として</p> <ul style="list-style-type: none">・PTA活動を通じて、家庭・学校・地域（企業）の連携を図り、子どもの健全育成を支援するとともに、子ども達の生の声に耳を傾ける（大分市立大分西中学校PTA会長）。・民間企業や公的団体、幼稚園から大学等の教育機関や公民館他での講師活動等により、人権を尊重する意識づくりや男女共同参画社会づくりの支援。・キャリアカウンセラーとして、教育機関や公的団体等でのセミナーや個別カウンセリングを行い、若者の社会人としての自立を支援。

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県高等学校 校長協会 大分県立野津 高等学校長 (濱田ミチヨ)	<ol style="list-style-type: none"> 1 ヤングヘルスセミナーの開催 臼杵保健所と連携して、2年生を対象に実施。 保健師の指導で、妊娠・出産の生理だけでなく、命の大切さ、親としての心構えなどの学習をさせている。 2 保育所でのボランティア活動 学校と隣接している保育所に、放課後、ボランティアにでかけ、授業だけでは得られない子どもへのかかわり方などの体験をしている。 知識・技術だけでなく、保育者としての心の醸成に努めている。 3 学校行事へ保育園児の参加 主に体育大会に市内2か所の保育園児を招待し、共に競技実施。 子どもとの交流を通じて子育てを身近な事としてとらえさせている。
(株)大分放送 (藤川和子)	<p>機会あるごとに、次世代育成支援(少子化・子育て支援)とかかわりのある問題を、ニュースやワイド番組の中で取り上げ、視聴者、聴取者がそれぞれの地域で、その問題を考えていくきっかけ作りとなるよう取り組んでいます。</p>
大分県医師会 (藤本 保)	<p>【個人としての意見】 子育て環境整備で最も重要なのは、こどもの成育環境を考えること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安全、安心の場所を提供する:公園、広場など 2 こども集団は保育所、幼稚園にしかなくなった現状では、地域の保育所、幼稚園に親子で自由に出入りできるようにする。 :自宅で母子カプセル状態となっているのが問題。(保育所や幼稚園に通っているこどもはむしろ安心) 3 こどもを育てる間、こどもと一緒にいたいと希望する親にそれが出来る法的整備が必要。県条例で企業に促す。あるいは補助金等の措置をする。 4 少子化対策のあらゆる企画を実行する。 (こどものための予算はあまりにも少ない) <p>【団体としての意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 育児等保健指導(ペリネイタルビジット)が全市町村で実施されるように働きかけること。 2 病児保育がさらに普及すること。

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分県私立幼稚園連合会 (牧野由子)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大分県私立幼稚園連合会の機関紙「私幼連だより」や大分県私立幼稚園PTAの機関紙「愛の花束」に子育てや少子化に関する特集を掲載するとともに、新聞等により各園の子育て事業を紹介する。 ○ 幼稚園の「園だより」や「学級だより」に子育ての楽しさや少子化に関する記事を掲載する。 ○ 地域や保護者の要請に応じ、幼稚園における預かり保育の拡充を図る。 ○ 安心して子育てができる環境づくりとして、保護者の負担軽減を図る。 ○ 預かり保育の実施に際し、土、日、夏休み等を活用して父親や地域のボランティア、異世代の参加を得て、豊かな体験活動ができるよう取組を推進する。 ○ 特別支援の受け入れと充実を図るための研鑽を積む。 ○ 幼稚園においても地域幼児教育のセンターとして子育て相談、子育て講座、子育てシンポジウムの開催等の取組を推進する。 ○ 幼稚園の園舎、園庭を開放し、地域の子育て家庭を対象にした親子の交流、親同士の交流の場を設置する。 ○ 家庭教育を支援するため、乳幼児の成長の節目に子育て通信を配布する。 ○ 中・高校生と幼児がふれ合う機会の充実を図るため、中・高校生の幼稚園体験学習の必要性と、受け入れの理解を図るための取組を推進する。 ○ 食育を通し、食の大切さ、重要性の認識を推進する。
大分県民生委員児童委員協議会 (三宅桂子)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童虐待や子育て不安を抱える家庭の発見と支援及び子育てサロンなどの具体的活動の推進 ○ 児童委員活動強化方策推進モデル事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①目的 「児童委員並びに主任児童委員活動の活性化」及び「児童虐待防止と子育て支援活動の活性化」を推進するためモデル民児協を指定し、「子育てサロン」の立ち上げを支援。 ②指定期間 1年間 ③助成金 1か所 5万円 ④指定か所 6か所 ○ 新生児ハッピーメール運動の推進 新生児が誕生した世帯に対してはがきを届け、児童委員・主任児童委員活動をPRし、子育て不安や悩みを解消させる運動をさらにすすめる。 ○ 三世代交流事業の挺進 ○ 子どもを犯罪から守る活動の推進 ○ 教育委員会、NPO団体、保健所等関係機関との連携強化

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
別府市福祉保健部 (宮津健一)	<p>本市では、国の「次世代育成支援対策推進法」制定を受け、別府市独自の「べっぴん子ども次世代育成支援行動計画」を、平成17年3月に策定した。(前期行動計画として、平成17年度から21年度までの5年間とし、後期行動計画は、平成22年度から26年度の5年間とし、見直しを行ったうえで策定する。)</p> <p>「湯けむりとぬくもりの中で、子育てしやすいと実感できるまち」を基本理念として、4つの目標①夢を持って楽しく子育てできるまちづくり②地域全体で見守り支えあう子育て・親育ての支援体制づくり③働きながら子育てするための環境づくり④子どもが希望を持ち、誇りに思う郷土づくりを掲げ施策体系を7つの基本目標とし、一つひとつの目標に沿って具体的に進めている。</p> <p>(主な施策)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子育て支援センター事業 子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援及び保育に関する情報提供等を実施し、地域の子育て家庭への育児支援を行う。西部子育て支援センター内では、ファミリーサポートセンター事業を行っている。 <p style="text-align: center;">〔別府市ファミリーサポートセンター事業〕</p> <p>育児の援助を行いたい者(援助会員)と、当該援助を受けたい者(依頼会員)からなる会員組織としてファミリーサポートセンターを設置し、地域において会員同士が育児に関する相互援助活動を行うことを支援する。これにより、子育てをする者が仕事と育児を両立できる環境を整備する。</p> 2 特別保育事業 障害児保育・延長保育・休日保育・一時保育・病後時保育・地域活動事業等の保育を行い、地域における福祉活動の充実を図る。 3 要保護児童対策事業 要保護児童対策地域協議会等を設立し、関係機関との密接な連携をとり、相談業務の強化・充実を図り、要保護児童の早期発見・対応、予防などきめ細かな取り組みを推進している。
大分大学 (山岸治男)	<p>大分市内のある中学校で、夏休みを活用し、「学習習慣づくり講座」を開きました。学校の了解で、今、10名の生徒が来ています。5回シリーズの3回目を終わった今、毎日生徒が帰り際に書く感想に目を見はっています。ほとんどの生徒が、「集中して、テレビなどに気を取られず勉強すると、長いと思っていた時間がすぐに過ぎてしまい、しかも、考えていたよりずっと、宿題がはかどる」と記しています。</p> <p>集中すること、テレビや冷蔵庫やマンガ雑誌などに距離をおくことの2つをクリアしようとしている生徒たちです。今は、少しずつ、各生徒が、勉強につまずききっかけになったマイナス習慣に気づかせ、逆につまずきから立ち直るきっかけとしてのプラス習慣を、学習方法の中に見つけ出せるための働きかけをしているところです。</p> <p>例えば数学ですと、()でくくることの意味や、分数をかけることの意味など、じっくり意味を読み取らせ、考えさせると、文章題が少し楽に解けるようになるのを、生徒の実際の姿の中に観察します。</p>

各団体等における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
大分合同新聞社 (山本吉純)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児休業の取得水準の維持と向上を目指す 女性社員…取得率100%を維持する 男性社員…育児休業取得のための周知 ※出産予定(家族含)社員に対する制度の説明 ○ 相談窓口の明示と相談体制のより一層の整備 ○ インターンシップ・職場体験を通じ、若年者の安定就労 自立した生活の推進
公募委員 (吉永 陽介)	<ol style="list-style-type: none"> 1 保護者の方を対象とした、親子のコミュニケーションについての講話及びワークショップ (大分高校、幼稚園、公民館、NHK文化センター) 2 子どもを対象としたコミュニケーションとマナー講座 (明野中学校)